

(広報資料)

平成29年8月2日

平成28年度 京都市立病院機構決算概要



みぶまる

担当:京都市立病院機構経営企画課(311-5311)

1 平成28年度(第6期事業年度)決算概要

市立病院及び京北病院は自治体病院として、感染症医療、救急医療やへき地医療などの政策医療をはじめ、市民の生命と健康を守るために、医療の質及び患者サービスの向上に取り組んでいる。

平成28年度は、第1期中期計画(平成23－26年度)に整備した医療機能を存分に活用した結果、市立病院の患者数の増加や診療単価の上昇等により、両病院ともに過去最高の医業・介護収益を達成し、市立病院では黒字に、京北病院では赤字額を大幅に圧縮し、法人全体では2期ぶりの黒字となった。

○ 医業・介護収益は両病院とも過去最高

市立病院の患者数の増加や診療単価の上昇などにより、両病院とも前年度を上回り、過去最高の医業・介護収益を達成

○ 経常損益は3億45百万円の黒字で2期ぶりの黒字

過去最高の収益に加えて、経費削減等による支出抑制により、市立病院は黒字、京北病院は赤字額を1百万円まで圧縮し、法人全体で2期ぶりの黒字を達成

	医業・介護収益		経常損益	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比
市立病院	158億66百万円	13億26百万円	3億45百万円	9億64百万円
京北病院	7億20百万円	16百万円	▲1百万円	76百万円
法人全体	165億87百万円	13億44百万円	3億45百万円	10億41百万円

※ 四捨五入のため、数字に差異が生じる。

2 平成28年度の主な実施事業

(1) 京都市立病院

ア がん診療機能の向上

① 休日開院や診療時間の拡大

放射線治療や化学療法において、長期休暇期間等に一部開院した。また、乳腺外科において、働く女性患者さんに向けて夕方診療を開始した。

	4月29日	5月3日	9月19日	12月23日	12月29日
放射線治療	—	34名	—	40名	31名
化学療法	2名	14名	11名	—	6名

② 腫瘍内科の新設

がん治療の薬物療法を専門とし、原発不明がんをはじめ、あらゆるがんに対応する腫瘍内科を4月から新設した。診療科やがんの種類の手数を超えて、治療や副作用管理を行っている。

③ 外来化学療法センターの拡充

患者さんの増加に 대응するため、外来化学療法センターのベッド数を14床から16床に増床した。

	26年度	27年度	28年度
外来化学療法件数	2,490件	2,791件	3,774件

約1,000件増加

イ 患者サービスの向上

① 患者送迎バスの充実

阪急西院駅とJR丹波口駅を巡回する患者送迎バスについて、順調に利用者を増やした。

② 健診センターの充実

女性の健診ニーズに応え、女性健診枠を拡大した。

(変更内容)

毎週水・木曜日、第1・第3金曜日→毎週水・木・金曜日

③ 専門外来の充実

高度な知識・技術を有するがん看護専門看護師、各種領域の認定看護師、がん専門薬剤師や他の医療専門職種によるコメディカル外来を充実した。

ロボット支援手術
の実施も継続的に
行いました。



2 平成28年度の主な実施事業

(2) 京都市立京北病院

ア 地域包括ケアシステム構築への貢献

① 地域包括ケア病床の開始

急性期の治療が終わり、病状が安定した患者さんに対するリハビリテーションや在宅復帰支援のため、平成29年2月に「地域包括ケア病床」を開始。

経営面でも、診療報酬の包括化による診療報酬単価が増加し、収益の向上が期待できる。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月
診療報酬単価	27,743円	27,294円	28,049円	31,187円	30,148円	31,289円

初めて30,000円
を超える。

② 市立病院からのバックアップ体制の強化

市立病院から医師をはじめ、放射線技師、臨床検査技師等を派遣し、京北病院において質の高い医療を提供する体制を更に強化した。

③ 京北病院と市立病院を結ぶ患者送迎車の運行開始

化学療法やMRIなどの高度医療機器による検査等、京北病院では受けられない治療や検査を市立病院で受けていただくため、両病院を結ぶ患者送迎車の運行を平成28年2月から開始した。(利用者数)のべ327人

④ 京北地域の関係機関との日常的な連携

いきいき地域ケア協議会等への参画、患者支援現場における密な連携に努めている。

在宅療養支援病院として、
訪問診療・訪問看護を積極的に行
いました。



3 財政状況等

(1) 業務量

市立病院

区 分			平成27年度	平成28年度	増 △ 減
入 院	一 般	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼 働 病 床 数	536 床	536 床	0 床
		稼働病床利用率	84.3 %	85.8 %	1.5 ポイ ント
		延 べ 患 者 数	165,335 人	167,940 人	2,605 人
		1日平均患者数	452 人	460 人	8 人
		実 患 者 数	13,173 人	13,800 人	627 人
		平均在院日数	11.5 日	11.2 日	△ 0.3 日
	結 核	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼 働 病 床 数	12 床	12 床	0 床
		延 べ 患 者 数	3,197 人	2,978 人	△ 219 人
外 来			診 療 日 数	243 日	243 日
			延 べ 患 者 数	302,436 人	316,851 人
			1日平均患者数	1,245 人	1,304 人

京北病院

区 分			平成27年度	平成28年度	増 △ 減
入 院	一 般	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼 働 病 床 数	38 床	38 床	0 床
		稼働病床利用率	71.2 %	70.1 %	△ 1.1 ポイ ント
		延べ患者数	9,907 人	9,720 人	△ 187 人
		1日平均患者数	27 人	27 人	0 人
入 所	保 介 健 護 施 老 設 人	稼 働 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼 働 居 室 数	29 室	29 室	0 室
		稼働居室利用率	91.2 %	89.4 %	△ 1.8 ポイ ント
		延べ入所者数	9,685 人	9,465 人	△ 220 人
		1日平均患者数	26 人	26 人	0 人
外 来		診 療 日 数	243 日	243 日	0 日
		延べ患者数	30,613 人	29,019 人	△ 1,594 人
		1日平均患者数	126 人	119 人	△ 7 人
診 療 所		診 療 日 数	243 日	243 日	0 日
		延べ患者数	1,010 人	932 人	△ 78 人
		1日平均患者数	4 人	4 人	0 人
看 訪 護 問		診 療 日 数	243 日	243 日	0 日
		延べ患者数	6,930 人	7,064 人	134 人
		1日平均患者数	29 人	29 人	0 人
通 所		実 施 日 数	243 日	243 日	0 日
		延べ利用者数	2,535 人	2,493 人	△ 42 人
		1日平均利用者数	10 人	10 人	0 人

(2) 財政状況

市立病院				(税抜額)					
区 分			平成27年度		平成28年度		増 △ 減		
経 常	収 入	営 業 収 益	億	百万円	億	百万円	億	百万円	
		うち医業収益	166	51	178	98	12	47	
		うち運営費負担金等収益	145	40	158	66	13	26	
		営 業 外 収 益	19	61	18	86	△	75	
		うち運営費負担金収益	2	04	2	07		3	
		うちその他営業外収益	76		70	△	6		
		うちその他営業外収益	1	28	1	37		9	
	計		168	55	181	05	12	50	
	損 益	支 出	営 業 費 用	167	80	169	98	2	18
			うち給与費	85	87	81	22	△4	65
(うち退職給付費用)			(8	25)	(1	91)	(△6	34)	
うち材料費			35	39	41	26	5	87	
うち経費その他			33	60	33	11	△	49	
うち減価償却費			12	94	14	39	1	45	
営 業 外 費 用			6	94	7	62		68	
計		174	74	177	60	2	86		
経 常 損 益			△6	19	3	45	9	64	
臨 時 損 益			△	95	△	9		86	
当 年 度 純 損 益			△7	14	3	36	10	50	
資 本 的 収 支	収	入	15	13	2	14	△12	99	
	支	出	35	12	22	48	△12	64	
	差	引	△	19 99	△20	34	△	35	
年 度 末 借 入 金 残 高			144	39	126	65	△17	74	

京北病院

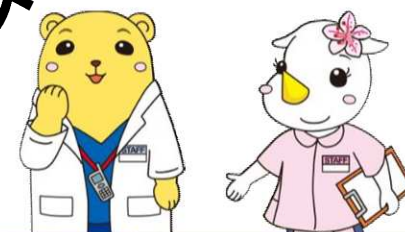
(税抜額)

区 分			平成27年度	平成28年度	増 △ 減
経 常 損 益	収 入	営 業 収 益	億 百万円 8 96	億 百万円 9 20	億 百万円 24
		うち医業収益	4 96	5 11	15
		うち介護保険事業収益	2 08	2 09	1
		うち運営費負担金等収益	1 77	1 85	8
		営 業 外 収 益	11	12	1
		うち運営費負担金収益	7	6	△ 1
		うちその他営業外収益	4	6	2
		計		9 07	9 32
	支 出	営 業 費 用	9 54	9 05	△ 49
		うち給与費	6 43	6 10	△ 33
		（うち退職給付費用）	(62)	(12)	(△ 50)
		うち材料費	57	59	2
		うち経費その他	2 01	1 79	△ 22
		うち減価償却費	53	57	4
営 業 外 費 用		30	28	△ 2	
計		9 84	9 33	△ 51	
経 常 損 益			△ 77	△ 1	76
臨 時 損 益			0	0	0
当 年 度 純 損 益			△ 77	△ 1	76
資 本 的 収 支	収 入		23	34	11
	支 出		78	85	7
	差 引		△ 55	△ 51	4
年 度 末 借 入 金 残 高			3 63	3 48	△ 15
(市立病院からの借入金)※外数			(6 12)	(6 54)	(42)

(参考資料)

平成29年8月2日

京都市立病院機構 地方独立行政法人化後の歩み



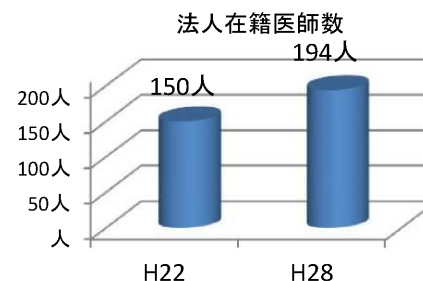
担当：京都市立病院機構経営企画課(311-5311) 8

地方独立行政法人化(平成23年4月～)

～独法の特徴である迅速性, 柔軟性, 効率性を発揮し, 運営基盤を整備～

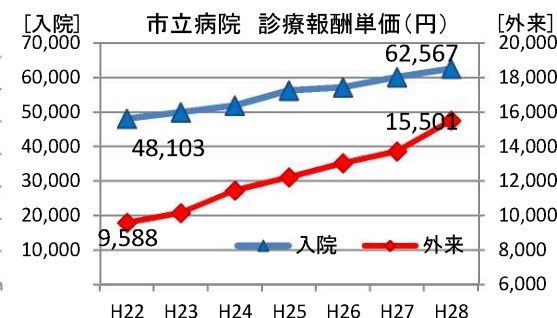
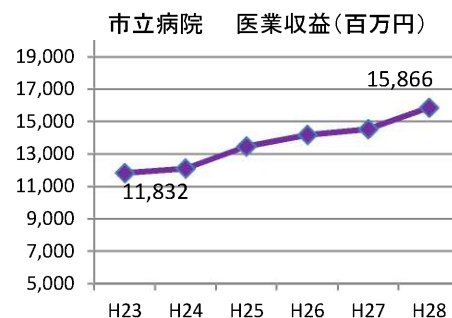
医師・看護師など人材の確保

- ＜市立病院＞・医師, 看護師など医療専門職の充実
独法前に比べ, 医師44名増, 看護師50名増
- ＜京北病院＞・常勤医師5名体制
・市立病院の応援体制の充実



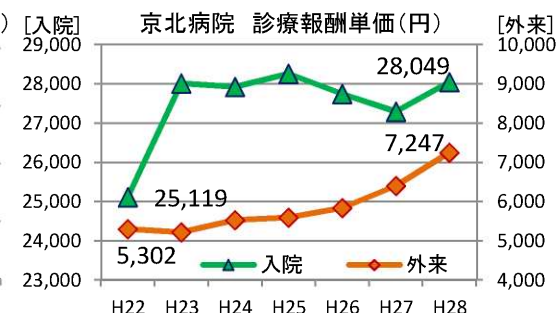
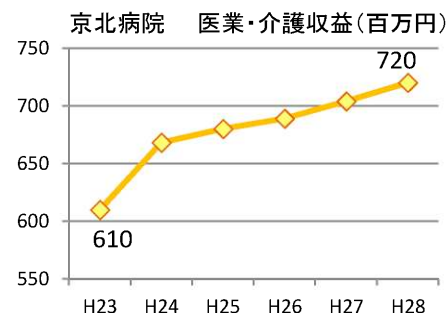
医療機能の充実と発揮

- ＜市立病院＞・病院整備事業による医療機能の向上
・手術支援ロボット等高度医療機器の整備
- ＜京北病院＞・在宅医療看護への注力
・介護サービス事業の開始
・電子カルテの導入



医業・介護収益の拡大

- ＜市立病院＞・過去最大の医業収益を毎年度更新
・政策医療に係る運営費交付金を年々削減
- ＜京北病院＞・過去最大の医業・介護収益(合計)を毎年度更新
・ほぼ収支均衡を達成(H28)



京都市立病院

医療の高度化の取組

- 手術支援ロボットダヴィンチの導入（H25），ロボット支援胃がん手術が先進医療認定（H27）
- 放射線治療装置リニアック2台体制，PET-CTの導入（H25）
- 外来化学療法センターを充実（増床，長期休暇期間中の開院（H27～）など）



手術支援ロボット「ダヴィンチ」

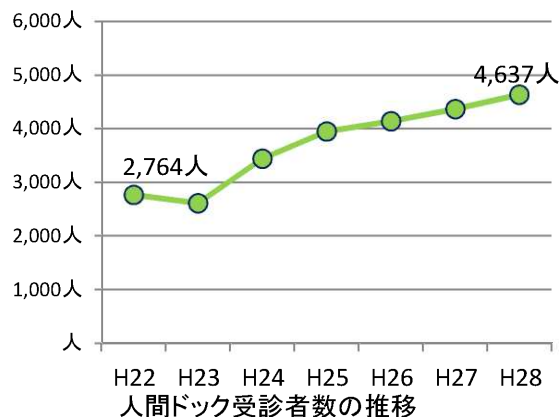
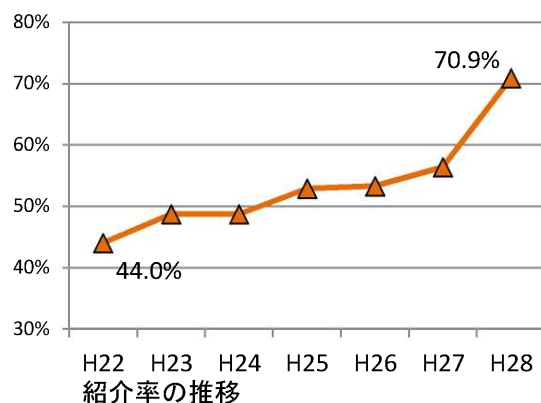


放射線治療装置「リニアック」



外来化学療法センター

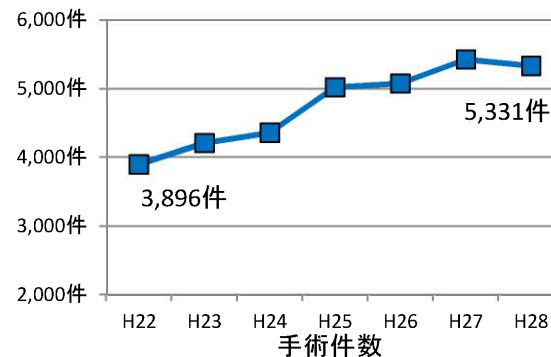
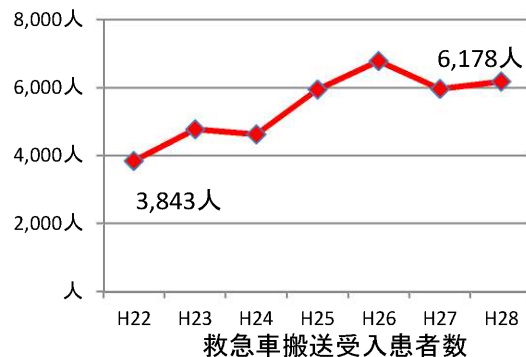
- 緩和ケア内科（H25），腫瘍内科（H28）を新設
- 地域医療連携の強化（MSWの採用，開業医との連携）による紹介率向上
- 市立病院消防出張所が新設（H28）され，事故・災害対策の強化を図る。
- 健診センターの充実（PET-CT，脳・肺がん等のオプション検査の拡大）



京都市立病院

病院整備運営事業(PFI事業H22～40)

- 本館改修，北館建替による医療機能の拡充（H22～25）
 - ① 救急室の充実（200㎡→800㎡），屋上ヘリポート整備
 - ② 手術室の拡充（7室900㎡→10室1,800㎡）
 - ③ ICUの増床，NICUの設置，個室数の増加・療養環境の整備
 - ④ コンビニ，レストラン等アメニティの充実



院内保育所「青いとり保育園」

- 付帯施設の整備（H25～26）
 - ① 駐車場の拡充（154台→218台）
 - ② リハビリ患者さんにも対応した庭園の整備
 - ③ 救急・災害医療センターの整備
 - ④ 院内保育所建替え
地域園児の受入枠15名，病児・病後児保育開始（H27）

- 病院運営事業

建物維持管理，医療事務，食事提供，検体検査，洗濯，清掃，物流管理，調達など医療周辺業務を包括的に委託



建て替えた北館と新たに整備した庭園

京都市立病院

患者サービスの向上

- ・ 市民公開講座の充実，出前講座を開始
- ・ 市民モニター制度の開始（H25），ご意見箱による業務改善



老人ホームで出前講座



市民モニター委員との意見交換

- ・ コメディカル外来の開始（H26）
- ・ イメージキャラクター「みぶまる」「みぶりん」作成（H27）
- ・ 患者送迎バスの運行開始（H27）



看護師によるフットケア外来
（コメディカル外来）



クリスマス会にみぶまる訪問



院内コンサートの様子



患者送迎巡回バスは平成29年4月から
ノンステップバスにグレードアップするとともに車内で
お笑いDVD等を放映するなど，更にサービスを向上

京都市立京北病院

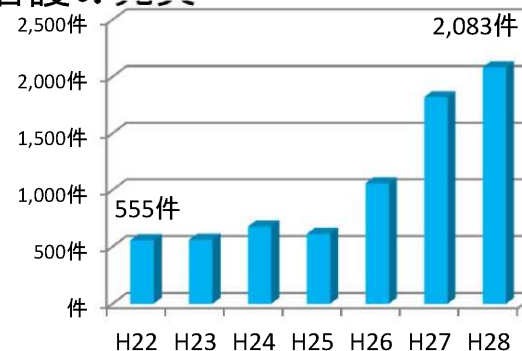
地域包括ケアの拠点施設としての取組

- 介護サービス事業の開始
 - ① 介護老人保健施設 29床 (H23)
 - ② 通所リハビリテーションセンター 定員10名 (H23)
 - ③ 居宅介護支援事業 (H26)

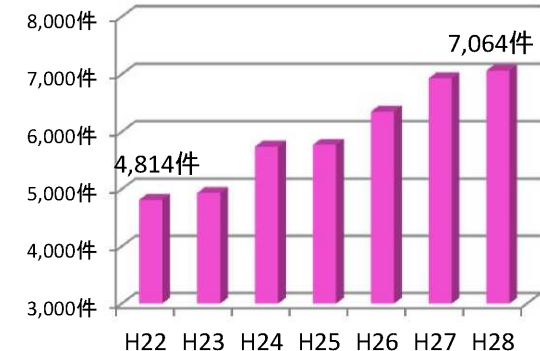


介護老人保健施設「はなふるさと」の様子

- 在宅医療への注力…訪問診療・訪問看護の充実
- 在宅療養支援病院の施設認定 (H27)
24時間往診体制等を整備
- 地域包括ケア病床の開始 (H28)
病状が安定した患者のリハビリや
在宅復帰を支援



訪問診療の推移



訪問看護の推移

京都市立京北病院

市立病院と連携した医療機能の充実

- 常勤医師を5名体制に充実（H27）
- 市立病院からの医療職の応援を充実
医師：皮膚科を新たに開設
そのほか、内科，外科，小児科，眼科など応援医師を派遣
その他，看護師，薬剤師，臨床工学技士など応援職員を派遣
- 京北病院と市立病院を結ぶ患者送迎車の運行開始（H27）
京北病院では受けられない高度な検査や治療を市立病院で受けやすく。
平成28年度はのべ327人が利用
- 電子カルテシステムの導入（H27）
市立病院と同じシステムを導入。両病院をネットワークで繋ぎ両病院の連携を一層促進